

「企業の森づくり推進事業」について



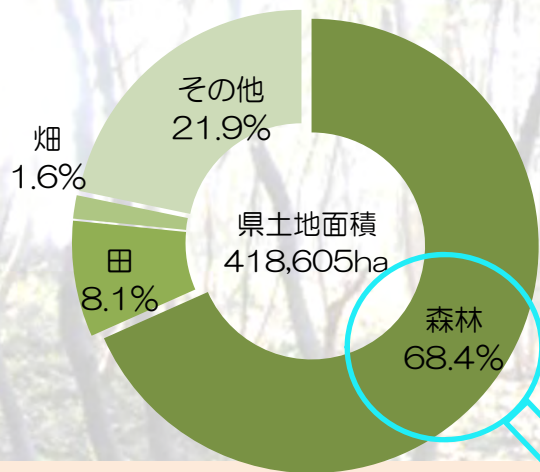
- ・石川県の森林について
- ・森林のはたらき
- ・企業の森づくり制度を活かした森林整備への参画



石川県の土地利用と森林



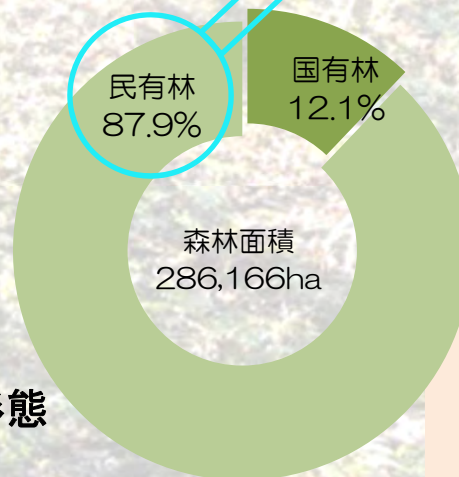
石川県の土地利用



石川県の県土の約7割は森林

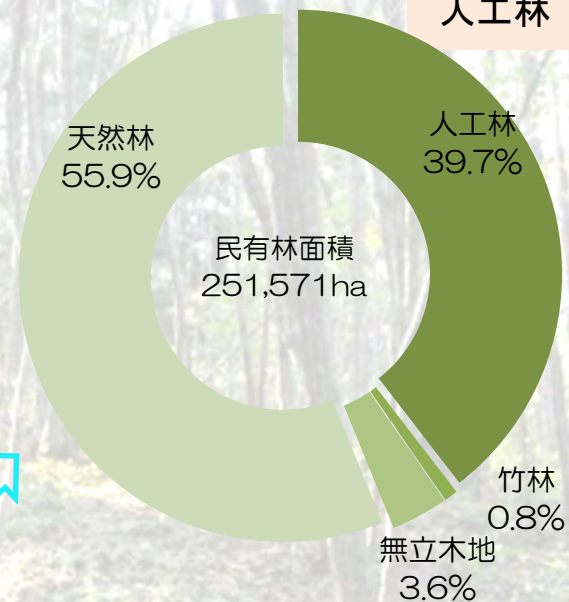


森林の所有形態



県内の森林の約9割は個人や自治体の所有物である

私有林の林種別面積



私有林の約4割が人工林

様々なタイプの森林

人工林

木材の生産を目的に、人の手で植えられた森林。スギ、ヒノキなど単一の樹種で成り立ち、年齢も等しい。

天然林

自然に成立した森林。様々な種類の植物が生育し、木の年齢はバラバラである。

様々なタイプの森林



◎ 高山植生

◎ 竹林

地質や気候、人の利用等によって異なるタイプの森林が出現する。

◎ 熱帯雨林

◎ 河畔林

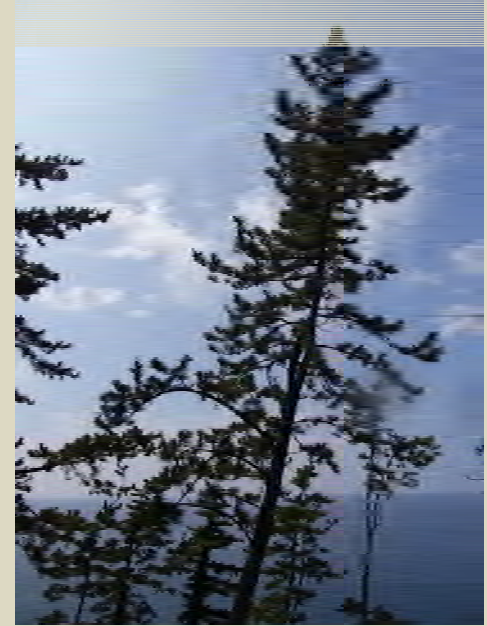
石川県内の代表的な樹種（針葉樹）



スギ



ヒノキアスナロ
(アテ)



クロマツ



アカマツ

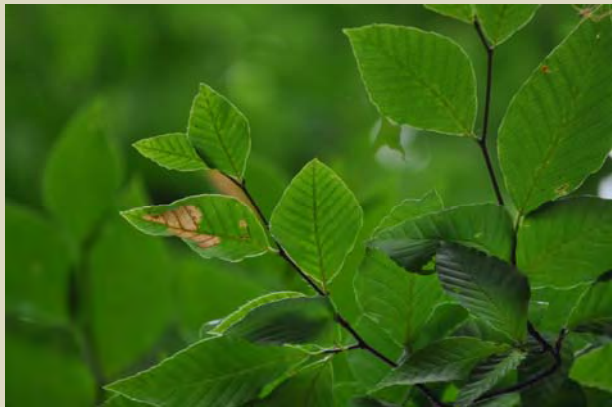
石川県内の代表的な樹種（広葉樹）



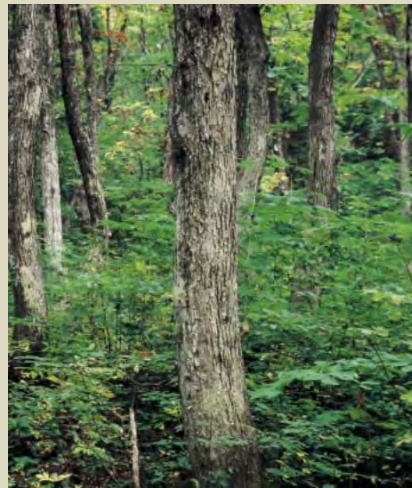
コナラ



クヌギ



ブナ



ミズナラ

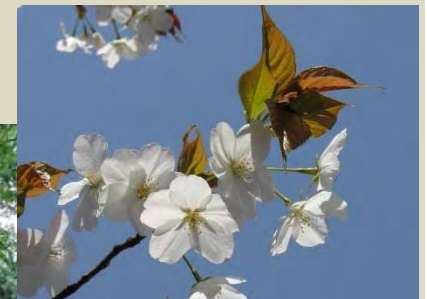


トチ

ケヤキ



ヤマモミジ



ヤマザクラ

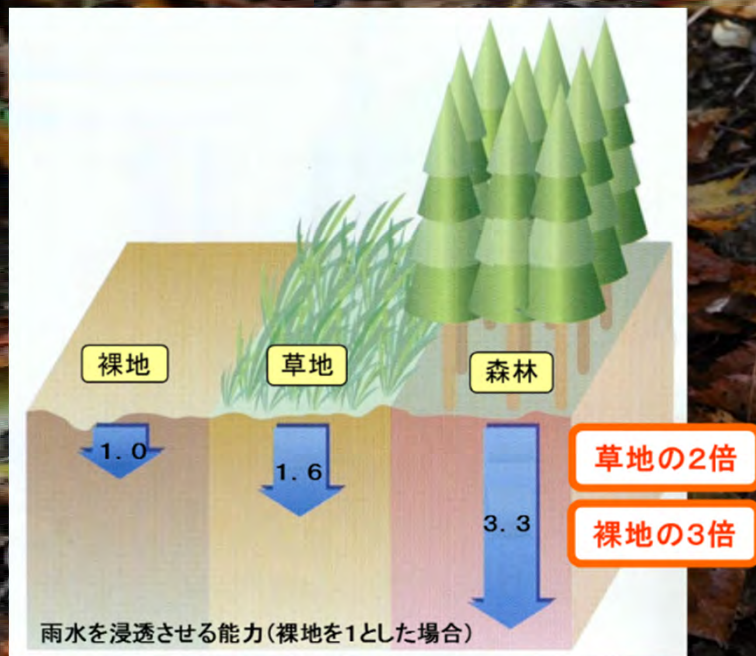
森林の様々なはたらき（公益的機能）



※石川県の森林が有している公益的な機能をお金に換算すると、年間1兆1,350億円にもなり、県民一人あたりが森林から受ける恩恵は、年間約100万円になると試算されます。

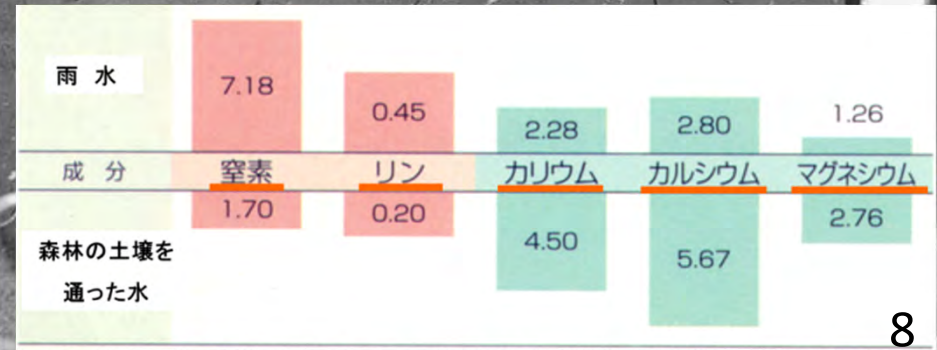
①水源かん養機能

森林土壌には、裸地の3倍以上の浸透能力があるとされている。

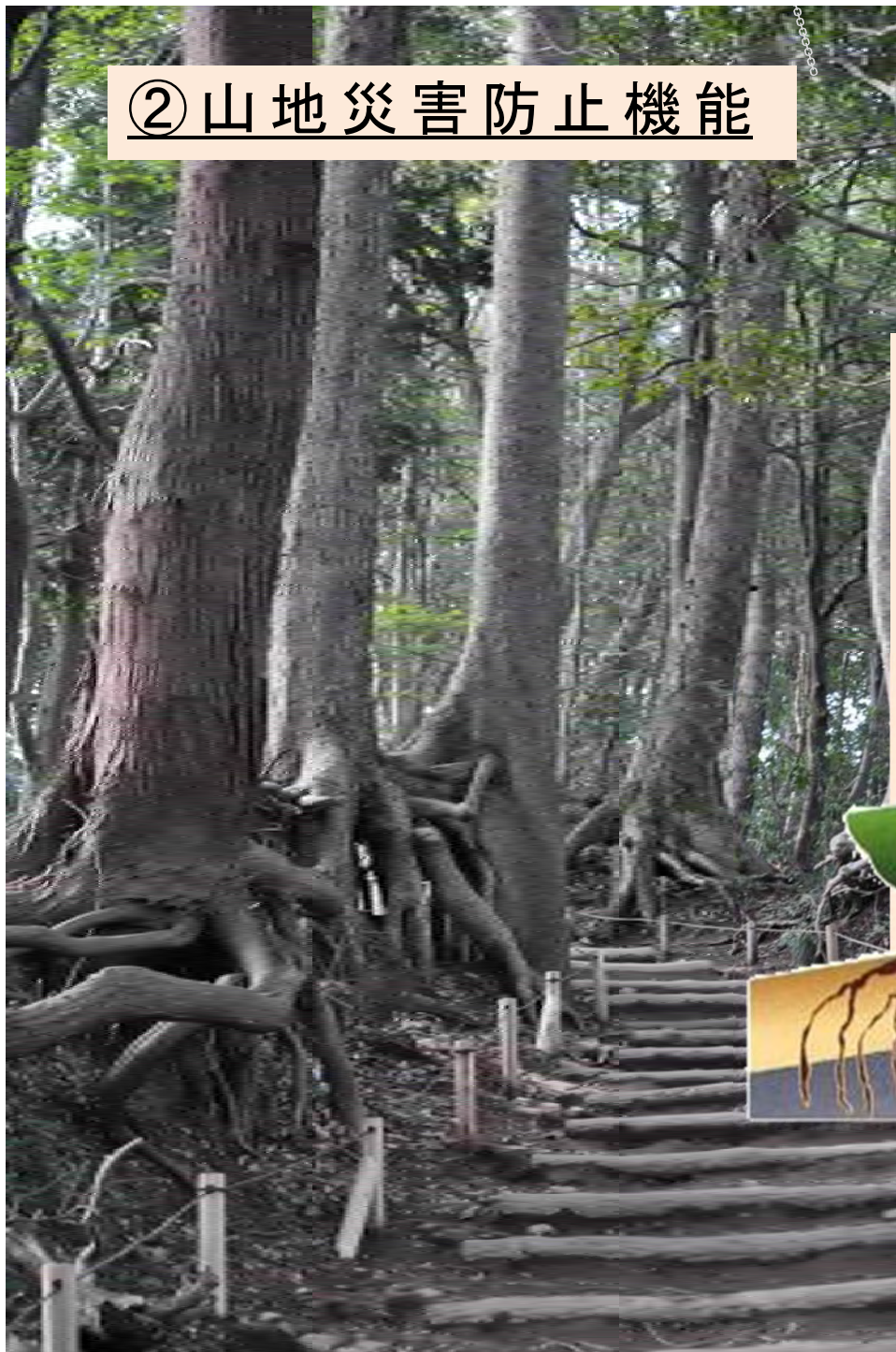


土壌・・・たくさんの隙間。

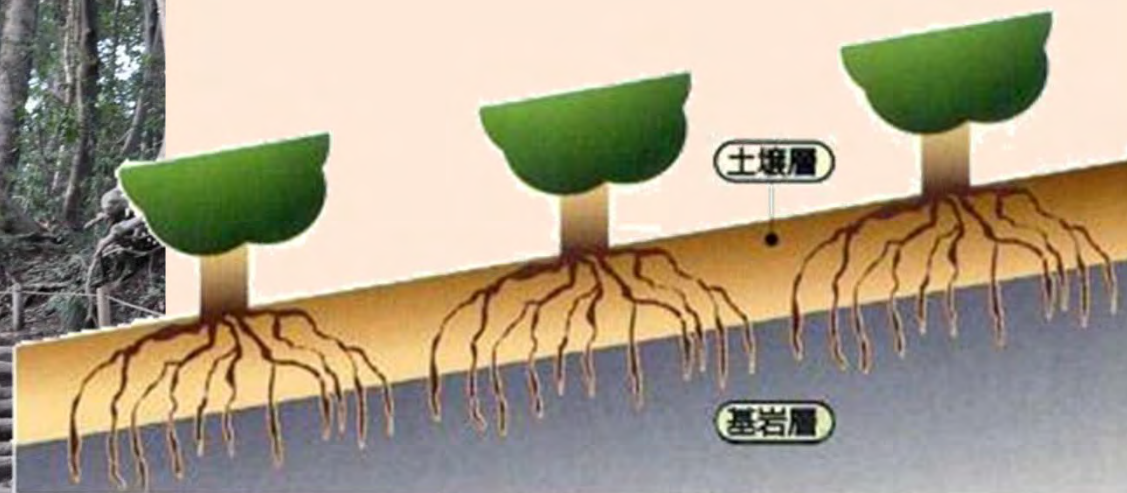
- ・雨水を浸透させ、緩やかに水を供給。
- ・洪水を防止。
- ・栄養分を、下流の田畑や海に供給。



② 山地災害防止機能

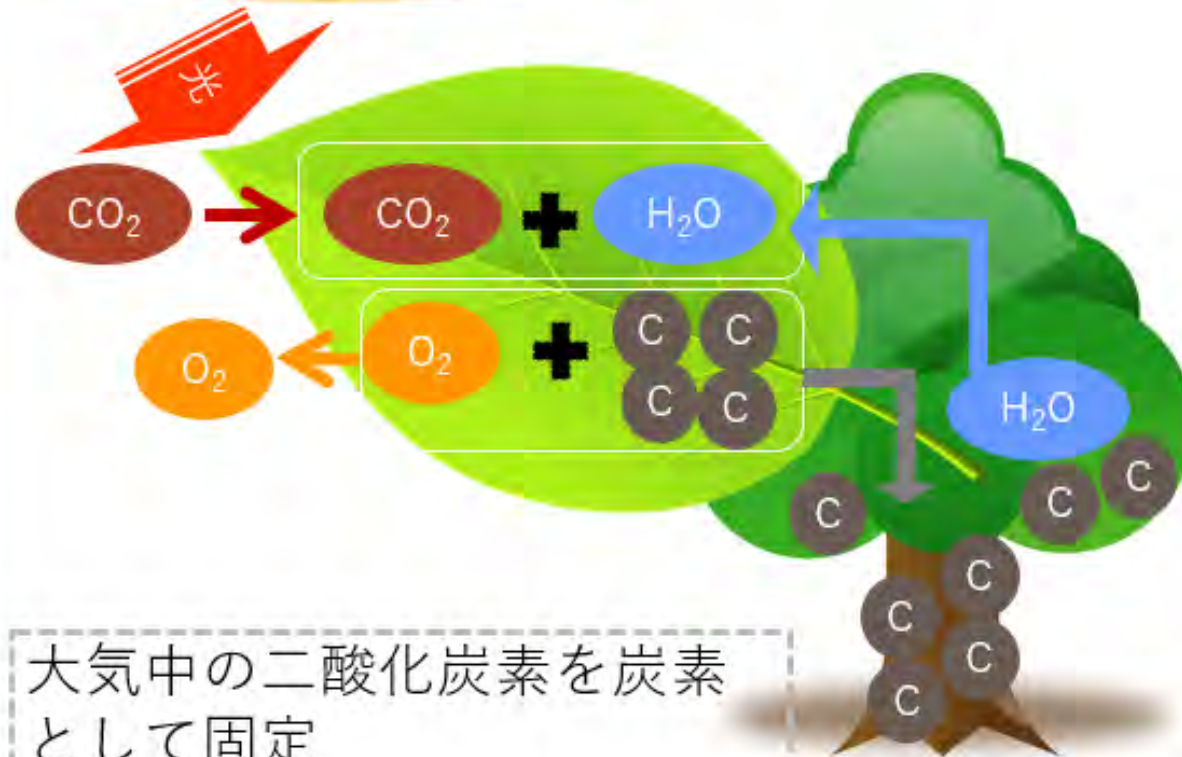


健全な森林の下層植生や落葉の層は、雨水の衝撃を和らげるとともに、地中に根を張り巡らして、土壌を固定して災害を防止するはたらきを持つ。



③二酸化炭素の吸収・温暖化の防止

地球温暖化の防止



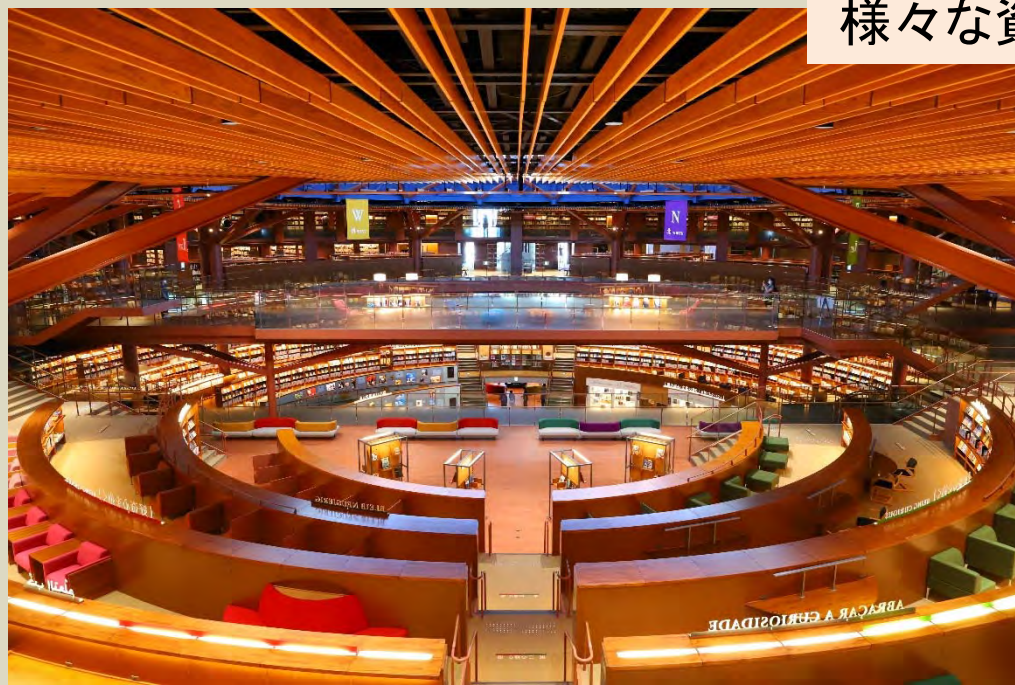
大気中の二酸化炭素を炭素として固定

図. 光合成のイメージ

④ 木材供給



森林は木材、きのこ、木炭、薪など
様々な資源を供給する源でもある。

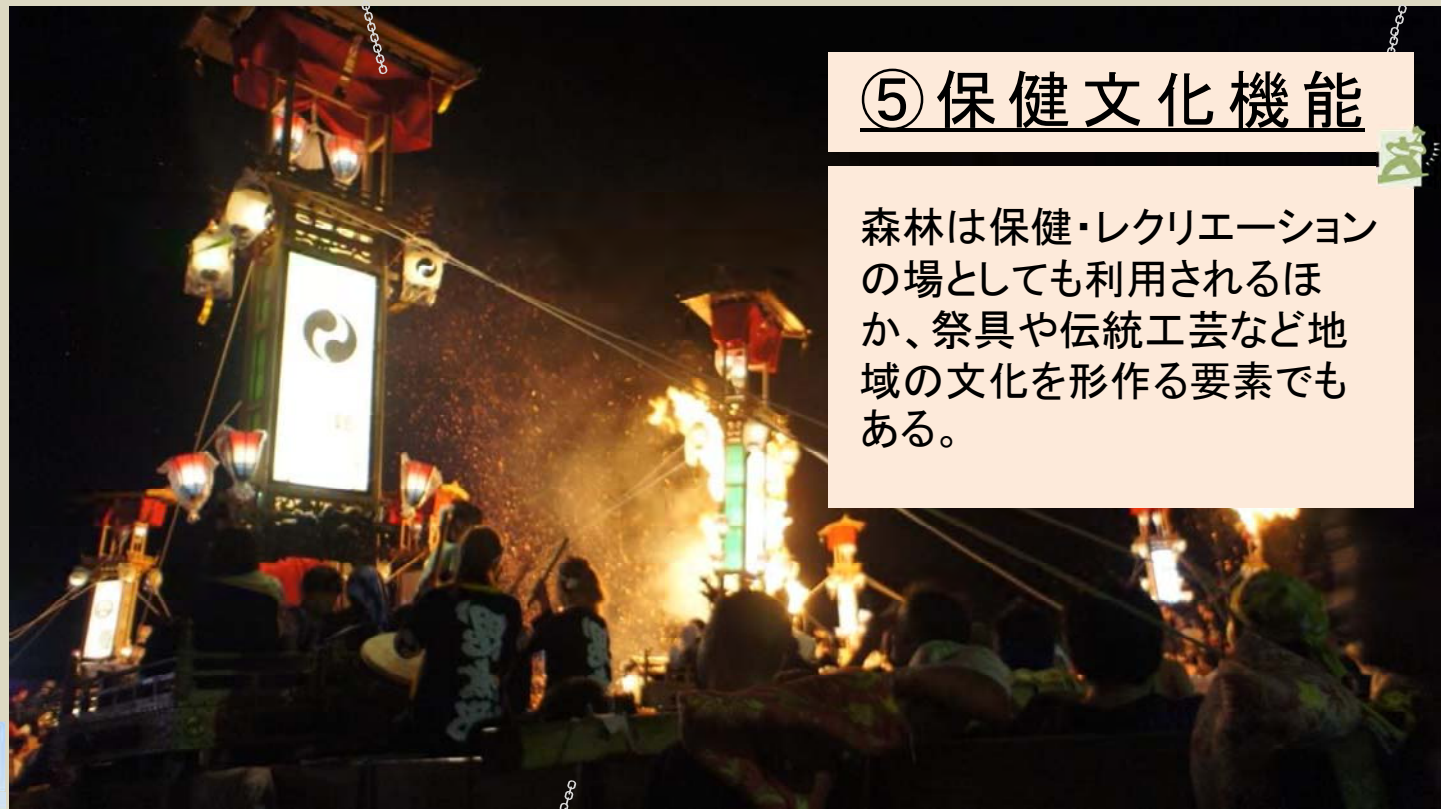


⑤ 保健文化機能

森林は保健・レクリエーションの場としても利用されるほか、祭具や伝統工芸など地域の文化を形作る要素でもある。

⑥ 生物多様性保全機能

- ・多様な生物が生息。
- ・河川等の周辺環境にも影響



森林資源の循環利用

森林は、木材生産のほか、国土の保全、水源の涵(かん)養、地球温暖化の防止などの働きを発揮し、地域に様々な恩恵を与えてくれるが、そのためには適切に経営管理を行うことが必要。



「伐って、使って、植えて、育てる」
サイクルの推進

我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係



注1：アイコンの下の文言は、我が国の森林の循環利用との関わりにおいて期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。
 2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。
 3：これからの様々な取組により、ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。

「企業の森づくり制度」を活かした森林整備への参画



「企業の森づくり推進事業」の概要

- ◎ 森づくり活動による社会貢献に意欲的な企業を支援
- ◎ 県及び市町が企業と森づくりに関する協定を締結し、社員や家族、地元住民が森づくりに参加

県民参加の森づくり活動の広がり

森林の公益的機能を高めるため、多様な主体が森づくりに参画できる仕組み



企業の森づくり推進事業のしくみ



- 環境・社会貢献活動のPR
- 森林の整備・利用
- 森林ボランティア活動の体験

- 活動できる森林の提供
- 森林の有効利用
- 地域と企業との交流



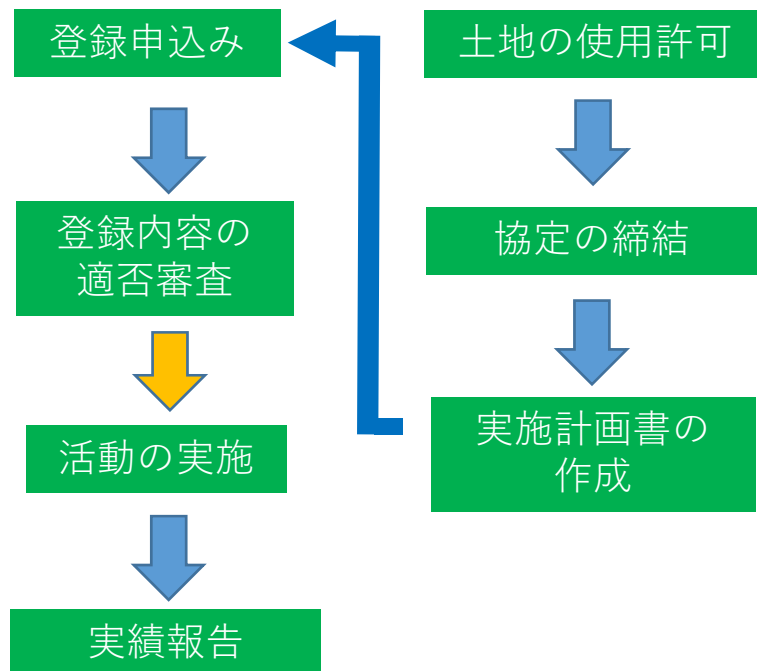
- 企業と森林所有者のコーディネート
- 説明会や現地見学会の開催
- 森づくり活動の普及・広報
- 活動できる県有林の提供

企業の森づくり推進事業における手続きの流れ

市町有・私有林等

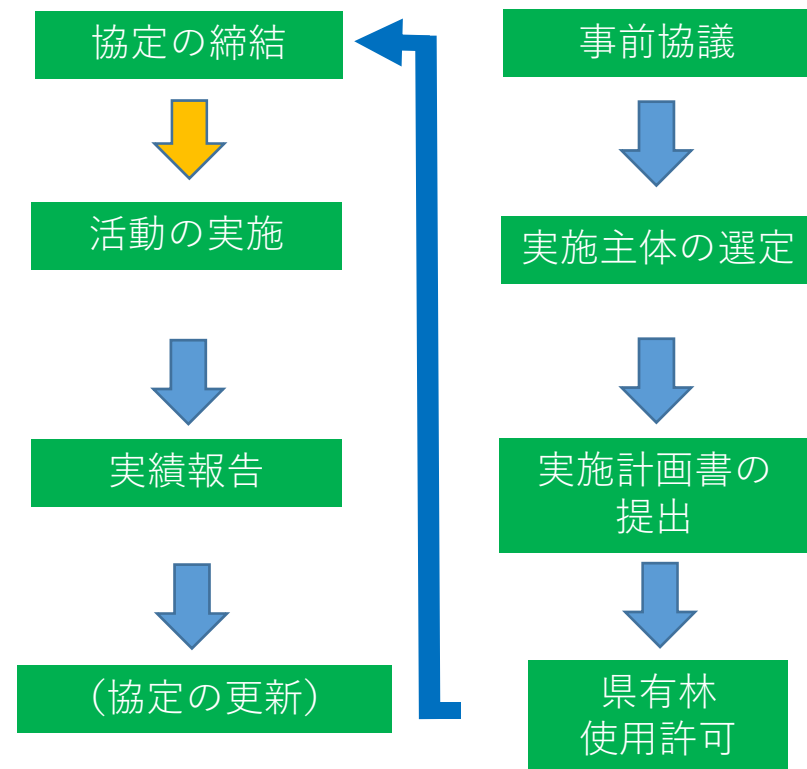
<石川県における企業の森づくり活動に関する指針>

<企業の森として登録を希望する企業>



県有林

<県有林における企業の森づくり活動実施方針>



活動実績と活動団体の推移

企業等による森づくり活動を推進するため、
活動事例集の作成、企業等に対する説明会や現地見学会の開催、活動フィールドの仲介、技術指導等を実施

活動実績

年度	R3
新規団体数	1 団体
活動団体数	59 団体
活動地区数	64 地区
参加者数	1,671 人

県有林：23地区
市町有林：28地区
県・市町共有林：3地区
国有林：1地区
私有林：9地区



企業の森づくりでできること

森づくりの主な作業種



地拵え

枝打ち



植栽後10年目以降は、良質材生産などのために、下枝を切り落とす。



間伐

地拵え・植栽・下刈り



地拵え・・・苗木を植えるための整地を行う。
植栽・・・栽培した苗木を1本ずつ植え付ける。植栽後数年間は、苗木に日光が当たるように周囲の雑草を刈り払う。

人工林の施業サイクル
森林は、伐採した後には再造林し、適切に手入れを行うことで、循環的な資源利用を行うことができる。

間伐

植栽後16年目以降は、個々の木々が十分に生長できるように本数の調整(間引き)を行う。

主伐、搬出



伐期を迎えた森林では、主伐を行い、材を搬出する。作業には、プロセッサやフォワーダ等専用の工機を装備した林業機械を使う。



搬出した木材



主伐

企業の森づくりでできること



植樹・植林

森林育成の第1段階。

最低限、5年程度は下刈りなどの保育作業が必要となる。

実施時期は3～4月、10～11月を主とする。



◎ 社内イベントに取り入れた事例

自社の創立〇〇年記念行事
社員の福利厚生を兼ねたイベント

企業の森づくりでできること



下刈り・枝打ち

作業が比較的単純で、ボランティア活動としても、手軽に実施できる。

高齢木の枝打ちをする場合、高い場所での作業となり、やや難易度が高い。

実施時期は下刈りは6～8月、枝打ちは9～12月を主とする。

◎ 社内イベントに取り入れた事例

地球温暖化対策、水源の保全、地域住民との協働など、企業の環境方針の一環として取り組む

企業の森づくりでできること



シイタケなどの植菌活動

広葉樹の幹に穴を開け、植菌する作業。

実施時期は1～5月。



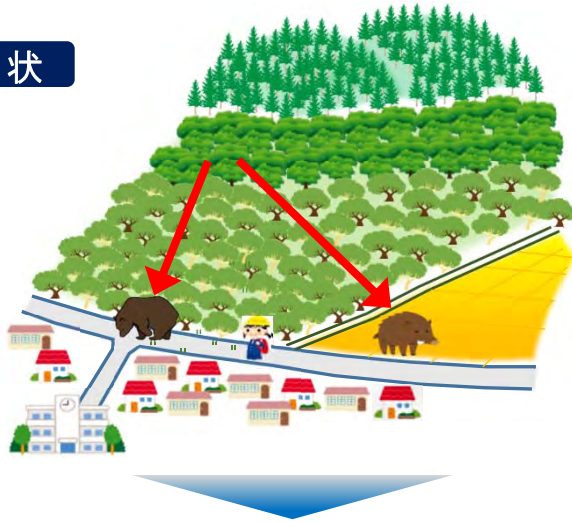
間伐材の搬出活動

間伐材を資源化するため、林内に残された材を搬出する作業。

実施時期は9～12月等を標準とする。



現状



実施後



企業の森づくりでできること



地域貢献

野生獣（イノシシ・クマ等）の被害で困っている集落の手助け。

困っている集落周辺の里山で、藪の刈払い等を実施。

山に人の手が入ると、野生獣が警戒して集落近辺に近寄りたくなる。

実施時期は、草の繁茂する6～8月頃だが、通年実施可能。（山に手が入れば入るほど効果大。）

◎ 石川県建設工事競争入札に係る主観点数の加点

石川県における建設工事入札参加資格者の格付けの際、建設業者が行う地域貢献等が「**社会的取組み**」として評価されます。

① 加点対象となる取り組み内容

- ・ いしかわ我がまちアドプト制度
- ・ 消防団協力事業所表示制度
- ・ いしかわ男女共同参画推進宣言企業認定制度
- ・ エコドライブ推進事業所認定制度
- ・ **いしかわ版里山づくりISO制度**
- ・ **企業の森づくり推進事業**
- ・ 金沢保護観察所協力雇用主
- ・ 女性の主任技術者雇用
- ・ 企業年金制度
- ・ 建設キャリアアップシステム事業者
- ・ 休日制度
- ・ いしかわ健康経営宣言企業

② 加点内容

- ・ 上記1項目に該当 5点
- ・ 上記5項目以上に該当 25点

詳しくは、石川県監理課のWEBサイトをご覧ください。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/syukanntenn.html>

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/documents/r4syukantenyouryou.pdf>

◎ 農林水産部建設工事総合評価方式（簡易Ⅰ型、簡易Ⅱ型）の加点

土地改良事業、森林土木事業において、前年度の**農林業への貢献実績**が評価されます。

① 加点対象となる取り組み内容


- ・ 農業委員会の許可を得て、農地等での農作物栽培を行っていること。
- ・ 中山間地等直接支払交付金に係る集落協定の構成員となり毎年度、活動を行っていること。
- ・ 多面的機能支払交付金に係る活動組織の構成員となり毎年度、活動を行っていること。
- ・ **「企業の森づくり推進事業」による協定締結での活動を行っていること。**
- ・ いしかわ農村ボランティア「農村役立ち隊」の隊員であり、かつ、前年度に活動を行っていること。

② 加点内容

- ・ 上記項目のうちいずれか1つ以上に該当 1点

総合評価方式については、石川県農業政策課技術管理室のWEBサイトをご覧ください。

http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nousei/gijyutu/sesaku/sougouhyouka/nourinsui_sougouhyouka.html



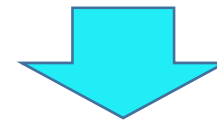
企業の森づくりによるメリット

◎ 企業のCSR活動 (社会貢献・環境貢献)

森づくりを通じた社会貢献、地域住民との交流の場などとして活用できます。

◎ 社員・家族の福利厚生 及び環境教育の場

豊かな自然に囲まれ、社員とその家族のレクリエーションや環境への理解を深めることができます。



企業のSDGsの取組みにも貢献

「企業の森づくり」の参考資料



企業の森づくり活動事例集2022
 県内で森づくりに取り組む企業の事例集、森林のマップ



企業の森づくりハンドブック
 企業の森づくりを実施する際の参考書

「企業の森づくり」の参考資料



森林×企業 SDGsハンドブック（公益社団法人 国土緑化推進機構）

森林づくり活動をされている市民団体、森林で経営課題を解決したい企業向けのSDGsハンドブック

出典：公益社団法人国土緑化推進機構ホームページ<https://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>

「企業の森づくり」の参考資料



石川県農林総合研究センター林業試験場ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/ringyo/index.html>

林業に関する研究報告や、森づくりの知識をまとめたパンフレットを掲載

例：広葉樹を植えて里山の森づくりをしたい

⇒ 里山の森づくりガイド (PDF：6,085KB)

例：里山のきのこの種類を調べたい

⇒ いしかわきのこ図鑑

例：海岸林の手入れをしたい

⇒ 海岸林のしくみと管理
(PDF：6,047KB)



各種パンフレットがダウンロード
できます

林業試験場ホームページでは、企業の森づくりや里山整備に役立つ情報を公開しています。